

クロバー手織り機「咲きおり」で織る ホワイトブルーのタペストリー

※クロバー手織り機「咲きおり」の使い方については、商品付属の説明書をご覧ください。

- ・ソウコウ:30羽
- ・たて糸の幅・本数:36cm・108(+2※)本 ※両端のたて糸のみ2本取りにします。
- ・織り上がりサイズ:約34×34cm

<作り方>

- ①たて糸(咲きおり用たて糸<太>クリーム)を張ります。両端のたて糸は2本取りにします。
- ②組織図の通りに織っていきます(組織図は2ページ目にあります)。
- ③織り地を織り機から外し、たて糸の始末をします。
たて糸は全て3本ずつをひと結びします(両端は4本ずつとなります)。
織り地上部のたて糸は、結んだ後三つ編みをしておきます。
- ④織り地下部にフサを付けます。並太毛糸を80cmにカットしたものを、白108本、青12本用意します。
6本を1束にして半分に折り、画像のようにかぎ針を使って③で結んだたて糸とたて糸の間の織り地に通し、フサにします。フサは全部で20本作りますが、そのうち右側から4本目と5本目の2本は青い糸で作ります。
- ⑤織り地下部のたて糸を約3cmに切りそろえて織り地の裏側にボンドで貼ります。

デザイン:パフェプロジェクト東京 山本エリコ
出来上がりサイズ:タテ約67cm×ヨコ約34cm(木の棒と吊り下げひもは含みません)

<使用道具>

クロバー手織り機「咲きおり」40cm
30羽ソウコウ
カットワークはさみ115
かぎ針 7/0~10/0号程度の太さのもの
クロバーボンド手芸用
厚紙 3×30cm

<材料>

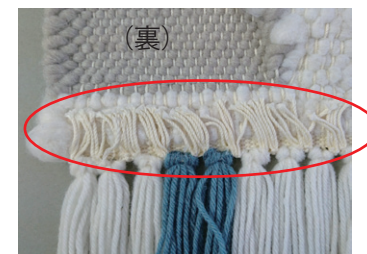
咲きおり用たて糸<太>クリーム 約60g
クロバー「モフモ」(60-499) ホワイト 16g、(60-565) グレー 15g
クロバー「ルネッタ」(60-506) ベージュ 8g、(60-505) ホワイト 12g
パフウール(72-851) オールドブルー 3g
並太毛糸 青 17g、白 36g
裂き布(約15mm幅) クリーム 4m
木の棒 直径15mm×60cm
吊り下げようひも 約90cm



80cmの糸6本を束にして
2つ折りにし、折った部分を
このように織り地に通す

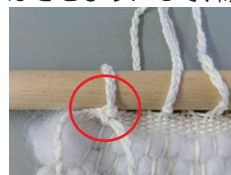


織り地に通した糸の輪の中に
糸端を入れ、糸端を引いて
輪を引き締める



たて糸は短く切って織り地の
裏側にボンドで貼る

- ⑥織り地上部のたて糸を木の棒に結びつけます。三つ編みにしたたて糸を2本1組にして木の棒をはさむようにして、織り地の裏側に結び目が来るように2回結びます。



三つ編みしたたて糸
を2本1組にし、
木の棒に結んでいく



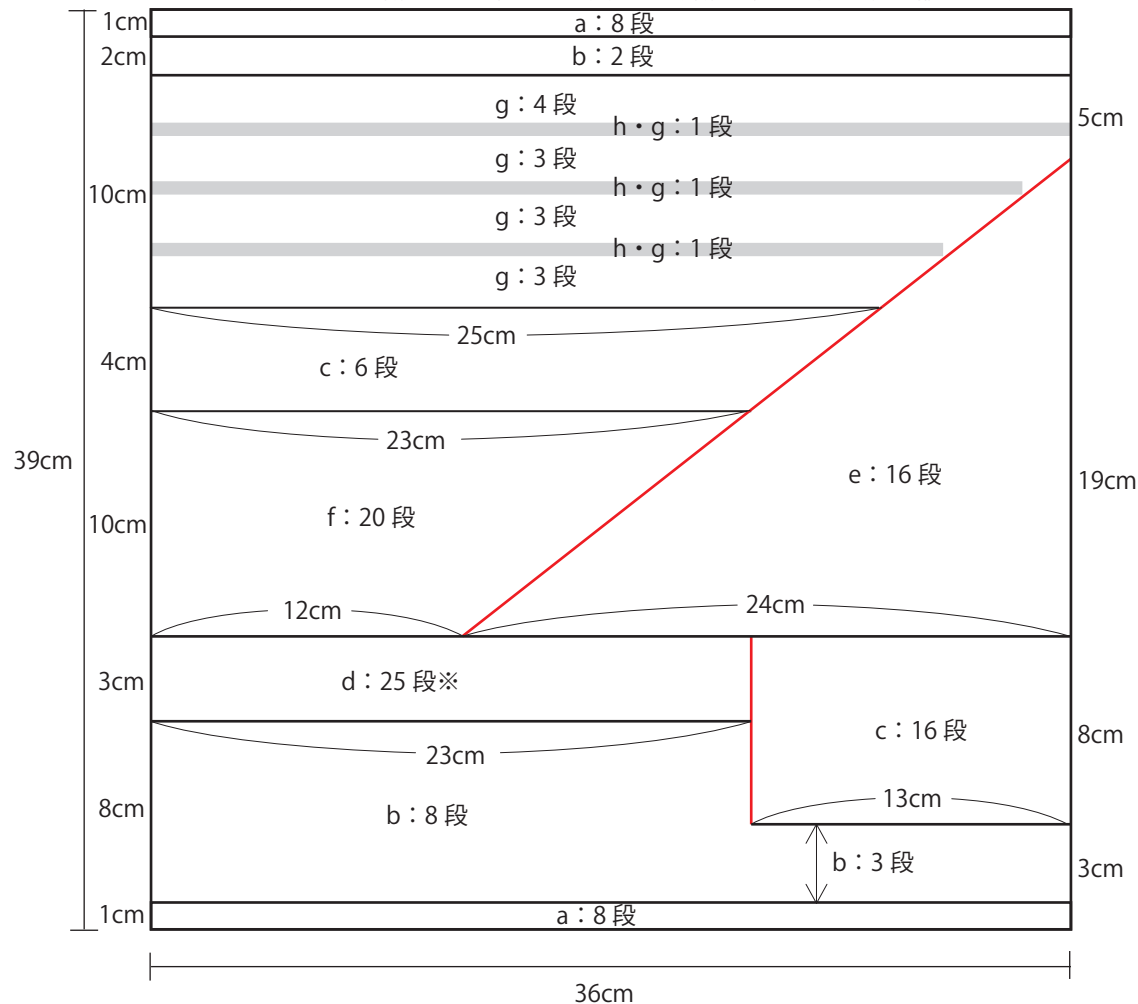
結んだらそのまま織り地の
裏側に垂らしておく

- ⑦吊り下げ用のひもを木の棒の両端に結んで完成です。

クロバー株式会社

<組織図>

※数字は、咲きおりで織っている状態での長さです。織り機から外すと少し縮みます。



- e:クロバー「モフモ」(60-565) グレー →1本取り:平織リ
1段ごとに左側のたて糸を6本ずつ減らして斜めに織ります。
- f:裂き布(約15mm幅) クリーム →平織リ
- g:クロバー「ルネッタ」(60-505) ホワイト →1本取り:平織リ
- h:パフウール(72-851) オールドブルー →約2cm幅に裂いて使います。
端の6本のたて糸をとばし、ソウコウをスウィングポジションにして、
上側のたて糸に4本ずつ上下になるように通します。
そのまま「g」のルネッタを1本普通に通して一緒に織ります。

【a～j:材料詳細と織る際のポイント】

- a:咲きおり用たて糸<太>クリーム →1本取り:平織リ
- b:クロバー「モフモ」(60-499) ホワイト →1本取り:平織リ
- c:クロバー「ルネッタ」(60-506) ベージュ →1本取り:平織リ

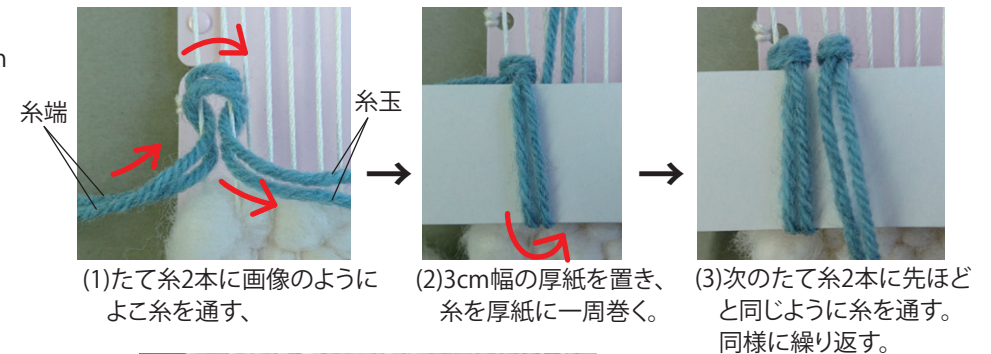
※bとc、dとcなど、別の素材が接する部分(赤線の箇所)は、右の画像のようによこ糸同士を絡めて織ります。



- d:並太毛糸 青 →2本取り:ノッティング…1段
並太毛糸 白 →1本取り:平織リ…4段

5回繰り返す

<ノッティングのやり方> ※説明は「クロバーミニ織り」を使用しています。



1段織れたら厚紙を引き抜きます。
織り終わるとこのようにモコモコした織り地になります。



クロバー株式会社

クロバー手織り機「咲きおり」で織る ホワイトブルーのタペストリー 2-2